

美しい箱根のために

函嶺白百合学園中学校 二年 稲毛 まかな

学校の校庭の正面には大文字山がどっしりと構えています。その尾根伝いには明神ヶ岳箱根の外輪山は今、新緑がとともきれいです。新しい緑は目にまぶしく、生き生きとしています。その山のふもとで、私は生まれてから十三年間育ちました。毎日、自然に囲まれて元気に生活しています。庭にふきのとうが顔を出すと、温かい春がすぐそこに来ていることがわかります。梅の花が咲き、良い香りがするのと同じ頃です。祖母の家に咲く桃の花は桜の花と共演します。その頃になると、うぐいすも鳴き始めます。私はいつも春の訪れを自然から感じます。春の庭は花が咲き、とてもきれいで私の大好きな季節です。

しかし、ここ数年異変を感じます。祖母や母は「入学式に桜は咲いていなかった。宮城野は四月の中旬に桜が咲いていたのに」と言っています。そうです、桜の花の開花が年々早くなり、今年はどうとう入学式には桜は葉桜となっていました。これは地球の温暖化の影響なのでしょう。季節もずれているように感じます。地球の温暖化が深刻な問題として考えられています。しかし、南極や北極の水や氷河が解け海面が上昇し、小さな島が海に沈んでしまう危険性

があることや動物たちの住む場所がなくなってしまうことなどの問題があることは知識としては理解しています。けれども島がなくなることや動物や植物の生態系に問題が生じることは私にとって身近に感じられるものではなく、危機感を実感するものではありませんでした。しかし、自分の住む箱根町でも季節は温暖化によって変化していたり、気候変動により、大雨や台風の被害なども大きくなっています。明らかな地球温暖化のよくない影響であると思います。

箱根の自然、もっと大きく言えば、地球環境を守るにはどうしたらよいのでしょうか。毎日の生活の中でSDGsという言葉を目にしない日はありません。国連サミットが定めた持続可能な十七の開発目標で国際社会共通なものです。この中に『陸の豊かさを守ろう』『気候変動に具体的な対策を』『住み続けられる町づくりを』というものがあります。これはまさに箱根の豊かな自然を守ることであり、未来につながることにしたいと思います。

私たちの学校では生徒会が中心となって『ブルーアースプロジェクト』という活動を行っています。女子学生の視点でおしゃれに環境問題に取り組もうというものです。今

までにたくさん企画をしています。例えば、海洋プラスチックごみを減らすために、ビーチクリーンに参加し、そのプラスチックごみを細かく砕き、色を付けて固めて、ヘアゴムやアクセサリーにしたり、ジェルキャンドルを作り、ろうそくの光で夜を過ごして、節電をしようと呼びかけたという楽しいもので、誰でも気軽に取り組めるものです。海洋プラスチックごみがウミガメの生息を妨げるという危機を訴える動画なども作っています。企画する側も楽しいし、見る側も楽しんでもらえると思います。

今、私が箱根町のためにできることは何だろうと考えた時、一番最初に思い浮かんだのは、観光で箱根を訪れた方に自分の足を使って楽しんでいただくことです。様々な観光地で試みられている『パーク&ライド』を提案したいと思います。例えば、箱根湯本まで車で来て、その先を箱根登山鉄道に乗り、山の裾野を縫って強羅まで登ってきます。車窓から見る青葉若葉は心を和ませてくれます。強羅にいたら、ケーブルカーに乗り換え、早雲山へ。早雲山からロープウェイに乗ると、大涌谷の絶景と富士山が見られます。数年前の噴火によって木々は枯れています。自然の驚異を感じずにはいられません。しかし、大涌谷から見える富士山は何とも言えない美しさがあります。そして再びロープウェイに乗っていくと、芦ノ湖が見えてきます。晴

れた日には芦ノ湖の水面がキラキラと輝いています。そんな景色をゆっくりと公共交通機関に乗って楽しんでもらいたいです。そうすることで車を使う時間が減り、環境にやさしく、渋滞も少なくなり、時間通りに目的地に着き、帰ることもできます。箱根の環境を守ることもつながるので、まさに一石二鳥です。しかし、『パーク&ライド』がなかなか浸透しないのは、大規模な駐車場の確保や電車やバスの料金や乗り換えの便利さなどの問題があります。電車やバスを利用することで、どれだけ環境にやさしく、箱根のためになるかを訴え続け、みんなで箱根にやさしくできるといっていききたいです。

私はいつも行動するとき、相手が喜んでくれることはどんなことかなと考えようとしています。また、これは相手が困ったり、嫌だったりしないかなと考えます。自然や環境に対してもこういう思いやりの気持ちをみんなが持つことで食い止められることはたくさんあると思います。そういう気持ちを持てるように発信していききたいです。